

□ 発電機自発停システム(自動発停式発電) □ **実用新案商品** 登録第3126632号

- 特長** フロートスイッチ、センサー、タイマー等からの信号により、必要な時だけ発電機を稼働させるシステムで、発電機を電源とし、水中ポンプ、タイヤウォッシャー等の電動機械を使用するさまざまな現場で活用します。
- また、発電機の発動停止の情報を記録するとともに、緊急に連絡が必要な場合に対応するために、任意の携帯電話に発動停止を通知することもできます。

※ 2009年9月25日、国土交通省のNETIS(新技術活用システム)に登録されました。(HR-090004-A)



自発停型発電機 $\left[\begin{array}{l} 100V \ 2.8KW \sim 3.1KW \\ 200V \ 13KVA \sim 220KVA \end{array} \right]$

独自 自発停用ソーラー制御盤

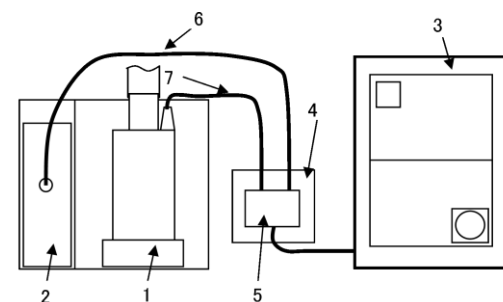
効果

- ・必要な時だけ発電機を稼働できますので、軽油の使用量を大幅に削減できます。
- ・停電突発事故による現場水没、台風大雨による冠水等に自動的に対応でき、人的作業が大幅に軽減されます。
- ・連続運転の軽減により、騒音、給油作業も軽減されます。
- ・決まった時間にも稼働させることができますので、時間を有効に活用できます。

使用例

- ・フロートスイッチで水位を感知し、必要な場合だけ水中ポンプを稼働できますので、昼夜兼行の給排水作業、夜間の突発的な停電・台風・大雨に無人で対応できます。
- ・タイマーによる稼働もできますので、作業前の事前排水が必要な場合など、無人で自動排水作業ができます。
- ・センサーによる稼働もできますので、車両の通過を検知し、タイヤウォッシャーの自動無人運転が可能です。

フロートスイッチによる水中ポンプの自動運転



1	給排水ポンプ	5	制御スイッチ
2	フロート室	6	フロートケーブル
3	自発停発電機	7	ポンプケーブル
4	制御盤		